

西胆振地域連携研修・法人内研修 実施報告書

研修名	事例をひもとき、こだわりにこだわる研修（入居系事業所編） 第一回目
-----	--------------------------------------

対象者	入居系事業所に勤務する職員（主任・生活相談員）
日程	平成30年6月26日（火）
会場	ふる里の丘総合福祉館



研修のねらい

介護保険が始まり18年が経ち、利用者本位のケアというフレーズも定着してきていますが、今でも認知症の人へのケアや行動・心理症状（BPSD）への対応に苦慮することが少なくありません。

認知症の人へのケアを行うには、まずは関係者全員が整理された情報を同じ視点で共有することから始まり、根拠に基づいた理解と思考展開による共通の実践が不可欠です。

その視点の共有方法を“ひもときシート”“こだわりシート”を通して学び、各施設で実践・導入できることを目的として開催します。

研修プログラム

時間	研修科目	講師	研修内容
13:30～15:30 (120分)	ひもときシートについて	大原の杜 吉田施設長	認知症ケアの視点が変わる「ひもときシート」を活用することで、各施設の困難事例の解決に取り組めます。
15:40～17:40 (120分)	こだわりシートについて	幸豊園 鈴木施設長	一人ひとりの“こだわり”を把握するための「こだわりシート」を活用することで、施設入居後もその人らしいあたりまえの生活が送れる仕組みの導入に取り組めます。

研修の様子

各入居系事業所に勤務する各職種職員ひもときシート研修13名、こだわりシート研修13名が参加。主に主任・生活相談員又はケアマネジャーが対象となっており、ひもときシートやこだわりシートの活用方法を学んでいた。

